

平成18年 1月20日

各 位

神戸市須磨区弥栄台3丁目1番2号
株 式 会 社 シ ャ ル レ
(コード番号 9885)

会社分割による持株会社体制への移行及び商号変更に関するお知らせ

当社は本日開催の取締役会において、平成18年6月1日を期して下記のとおり会社分割をし、持株会社体制へ移行することを決議しましたのでお知らせ致します。同日付で現在の株式会社シャルレは商号を「株式会社テン・アローズ」と変更した上で、引き続き上場会社となる予定です。

なお、当社は平成18年6月下旬開催予定の定時株主総会をもって、委員会等設置会社に移行の予定です。委員会等設置会社への移行に伴い、社外取締役を招聘してさらにコーポレートガバナンスの強化に努めます。

記

1 経緯

当社企業グループは、レディースインナーを主体とする衣料品および化粧品等の販売（卸売）事業であるシャルレ事業、そして総合ギフト卸売事業であるエニシル事業をグループのコア事業として定めております。

各事業とも業績の向上を目指し、「お客さまへ豊かさを提供すること」を使命として事業運営に積極的に取り組んでおりますが、企業グループとして更なる飛躍を目指すため、次期中期経営戦略では持株会社体制（持株会社の下に事業子会社を構成する会社体制）へと移行することと致しました。

この事業子会社が固有の事業に専念できる新体制のもと、シャルレ事業、エニシル事業は、多様化と変化のスピードが早まるお客様のニーズをはじめとする環境変化に対応するために、次のことに取り組んで参ります。

まずシャルレ事業は、「あなたのための心を込めたおもてなし」をテーマに、ホスピタリティマインドをより強化していきます。例えば、乳癌用下着や少子高齢化の時代を迎えて女性のライフステージを応援する社会貢献度の高い商品投入をすることによって「既存顧客の満足度の向上」や「新規顧客の獲得」で売上の向上を目指します。また顧客満足度の高い商品の提供や、より高いホスピタリティを実現できるような他企業とのアライアンスを積極的に検討して参ります。

次にエニシル事業は、「ありがたのネットワークの創造」という経営理念に基づき、ギフト市場のリーディングカンパニーとなると共に、新しいギフト文化の創造を行って参ります。

更に、新規事業への取組みも機動的に行う体制が整うことにより、コア事業の成長と共に企業グループを支える第3、第4の事業を構築し、磐石な企業グループを目指して参ります。第3、第4の具

体的事業分野としては、情報通信分野、健康関連分野、生活雑貨関連分野等を考えており、当社が大事にしているお客様の満足度を向上させる為、時代に合ったコミュニケーションスタイルを創生し、中長期的にコア事業とのシナジー効果を求めていきます。株式会社シャルレは、時代のスピードに合わせて機動性を持たせる為、株式会社テン・アローズの100%子会社となり、三屋裕子が代表取締役社長としてシャルレのブランド価値の向上に努めて参ります。

2 会社分割及び商号変更の目的

(1) 会社分割

持株会社体制への移行により、下記3項目の達成を目指します。

企業グループ全体としては、各事業の経営環境をより客観的に評価することで最適な経営資源配分を容易にします。

各事業子会社においては権限と責任を明確にした上で経営の自由度を高め、市場環境の変化に機動的に対応できる組織体制を構築することで、市場競争力の強化を図ります。

更に、持株会社体制により、最適な事業ポートフォリオを構築することで、企業グループの価値向上を目指します。

(2) 商号変更

上記記載の主旨に基づく持株会社体制への移行に伴い、今後の当社の事業内容が大きく変更することにより、商号変更を行うことと致しました。

なお、商号変更は、平成18年3月30日開催予定の臨時株主総会において、「定款一部変更の件」が承認されることを条件として実施する予定です。

新商号 株式会社テン・アローズ

(英文名 TEN・ARROWS CO., LTD.)

変更日 平成18年6月1日(予定)

3 移行後の会社体制

(1) 持株会社(株テン・アローズ)の役割

持株会社の役割は、企業グループ価値の最大化のため、企業グループの経営に専念します。そのために下記の機能を持ちます。

- ・事業ポートフォリオ、事業間シナジー、経営資源配分等の企業グループ戦略の策定
- ・事業のモニタリングをはじめとする個別事業の評価及び管理運営
- ・あらたな事業の企画・立上げ

(2) 事業子会社の役割及び注力するポイント

個別事業の事業運営に専念します。次期中期経営戦略で、各事業会社毎の注力するポイントは参考資料を参照下さい。

(3) 持株会社の役員体制

取締役会議長及び代表取締役社長を三屋裕子が担います。

代表取締役は3名体制にし、今以上に指導体制を強化して参ります。

4 会社分割の要旨

(1) 分割の日程

平成18年1月20日	分割計画書承認取締役会
平成18年3月30日	分割計画書承認臨時株主総会(予定)
平成18年6月1日	分割期日(予定)
平成18年6月1日	分割登記(予定)

(2) 分割方式

a 分割方式

当社を分割会社とし、新設する株式会社シャルレを承継会社とする分社型新設分割(物的分割)です。

b 当該分割方式を採用した理由

持株会社に移行できる分社型新設分割(物的分割)にしました。

(3) 株式の割当て

会社分割に際し承継会社が発行する株式9,600株は、すべて分割会社である当社に割当てます。

(4) 分割交付金

分割交付金の支払いはありません。

(5) 承継会社が承継する権利義務

承継会社は分割期日において、レディースインナーを主体とする衣料品および化粧品等の販売(卸売)に属する次に記載する資産、負債及び契約上の地位並びに、これらに付随する一切の権利義務を承継します。但し、本件分割に係る当社と承継会社との分割計画書において別段の定めのあるものを除きます。

なお、承継会社が当社から承継する権利義務のうち、当社は、承継会社に承継される債務全てについて、引き続き新設会社と連帯して当該債務を負担するものとします。

(6) 債務履行の見込み

分割会社

本件分割によっても当社における簿価純資産に変更はなく、また今後の活動において当社が負担する債務の履行に支障を及ぼす事態の発生は現在予想されておりません。以上により、当社の負担すべき債務の履行の見込みがあると判断いたしました。

承継会社

承継される資産の額は負債の額を上回っているため、債務の履行を担保する十分な資産を有します。また承継される営業活動において債務の履行に支障を及ぼす事態の発生は現在予想されておりません。以上により、承継会社の負担すべき債務の履行の見込みがあると判断いたしました。

(7) 承継会社に新たに就任する役員

取締役

三屋 裕子、中尾 江里子、神力 望、早川 淳

監査役

伊丹 歳浩

5 分割当事会社の概要

	平成 17 年 9 月 30 日現在 (中間)	分割後の予定
(1) 商号	株式会社シャルレ (分割会社) (株)テン・アローズ に商号変更予定)	株式会社シャルレ (承継会社)
(2) 事業内容	レディースインナーを主体とする 衣料品及び化粧品等の販売 (卸売)	レディースインナーを主体とする 衣料品及び化粧品等の販売 (卸売)
(3) 設立年月日	昭和 50 年 11 月 19 日	平成 18 年 6 月 1 日
(4) 本店所在地	神戸市中央区港島中町 七丁目 7 番 1 号	神戸市中央区港島中町 七丁目 7 番 1 号
(5) 代表者	代表取締役社長 三屋 裕子	代表取締役社長 三屋 裕子
(6) 資本金	36 億 25 万円	4 億 8 千万円
(7) 発行済株式総数	19,381,368 株 (自己株式 1,653,582 株除く)	9,600 株
(8) 株主資本	25,103 百万円	4,199 百万円
(9) 総資産	32,475 百万円	10,779 百万円
(10) 決算期	3 月 31 日	3 月 31 日
(11) 従業員数	416 名	378 名

(12) 主要取引先	伊藤忠商事(株)、ハマチ産業(株)	伊藤忠商事(株)、ハマチ産業(株)
(13) 大株主及び持株比率 (平成17年9月30日現在)	(有)サザンイーグル(18.08%) (有)オットー(7.52%) 林 雅晴(7.17%) 林 宏子(4.93%)	(株)テン・アローズ(100%)
(14) 主要取引銀行	(株)三菱東京UFJ銀行	(株)三菱東京UFJ銀行
(15) 当事会社の関係	資本関係	分割会社は、承継会社の発行済株式総数の100%を保有します。
	人的関係	承継会社の代表取締役は、分割会社の代表取締役が兼務する予定です。
	取引関係	分割会社の従前の営業の一切に係る取引関係はすべて承継会社に承継されます。また両者間においては不動産の賃貸借取引等を予定しています。

(16)分割会社の最近3決算期間の業績

(単位：百万円)

決 算 期	株式会社シャルレ(連結)			
	平成15年3月31日	平成16年3月31日	平成17年3月31日	平成17年9月30日 (中間)
売 上 高	39,181	66,304	65,093	31,551
営 業 利 益	2,742	1,889	13	137
経 常 利 益	2,836	2,098	525	391
当 期 純 利 益	1,246	744	1,932	592
1株当たり当期純利益	62.71円	37.23円	97.61円	30.58円
1株当たり株主資本	1,369.52円	1,404.90円	1,284.49円	1,294.45円

決 算 期	株式会社シャルレ(単体)			
	平成15年3月31日	平成16年3月31日	平成17年3月31日	平成17年9月30日 (中間)
売 上 高	39,181	38,128	36,195	17,132
営 業 利 益	2,739	1,469	146	641
経 常 利 益	2,833	1,626	358	833
当 期 純 利 益	1,248	719	1,881	615
1株当たり配当金	30円	30円	30円	-

6 分割する事業部門の内容

(1) 分割する事業部門の内容

レディースインナーを主体とする衣料品及び化粧品等の販売（卸売）

(2) シャルレ事業の平成17年3月期における経営成績

	分割する事業（a）	分割会社の実績（b）	比率（a / b）
売上高	36,195 百万円	36,195 百万円	100%
売上総利益	13,670 百万円	13,670 百万円	100%
営業利益	146 百万円	146 百万円	100%
経常利益	358 百万円	358 百万円	100%

(3) 譲渡資産、負債の項目及び金額（平成17年9月30日現在）

資 産		負 債	
項 目	帳簿価額	項 目	帳簿価額
流動資産	8,038 百万円	流動負債	5,063 百万円
固定資産・投資等	2,741 百万円	固定負債	1,516 百万円
合 計	10,779 百万円	合 計	6,580 百万円

7 分割後の当社の状況

- (1) 商 号 株式会社テン・アローズ
- (2) 事業内容 グループ会社を統括する管理運営会社
- (3) 本店所在地 神戸市中央区港島中町七丁目7番1号
- (4) 代表者 代表取締役 三屋 裕子
- (5) 資本金 3,600 百万円（平成18年6月1日現在）
- (6) 総資産 25,895 百万円
- (7) 決算期 3月31日
- (8) 業績に与える影響

承継会社は当社の100%子会社となるため、本件会社分割が当社企業グループの連結業績に与える影響はありません。また当社の単体業績については、分割後当社が持株会社となるため、収入は子会社からの商標使用料、土地・建物の賃貸料収入、配当収入が主なものとなり、一方費用は、持株会社としての機能に関するものが中心となります。

以 上

(参考資料)

事業子会社の注力するポイント

株式会社シャルレは、ホスピタリティマインドをより強化し、既存顧客の満足度の向上や新規顧客を獲得することで売上の向上を目指します。また、顧客満足度の高い商品の提供やより高いホスピタリティを実現できるような他企業とのアライアンスを積極的に検討して参ります。

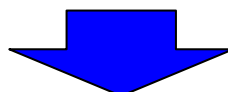
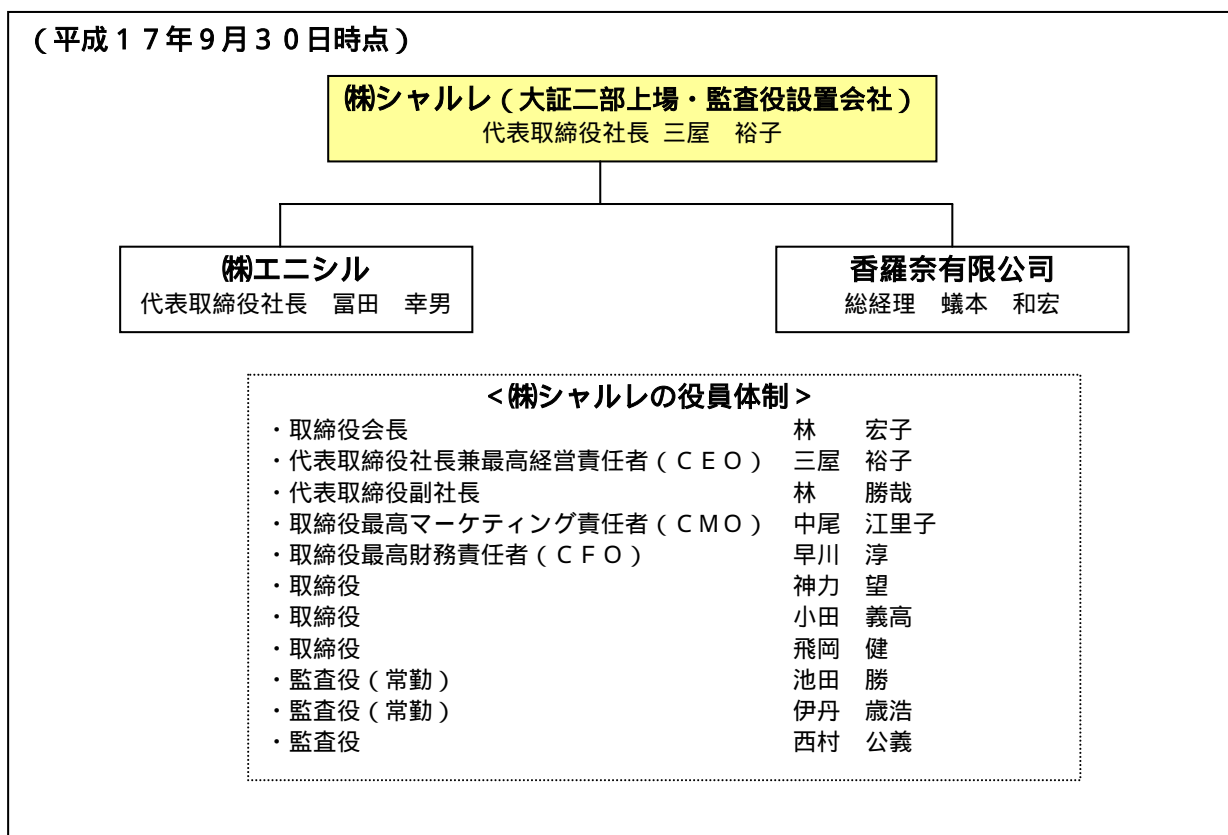
株式会社エニシルは、ギフト事業とセールスプロモーション事業において、成長性のある事業を展開し、売上拡大と収益構造の改善を行います。

香羅奈有限公司は、中国でのパイロット販売でノウハウを蓄積し、下着販売事業の黒字化を目指します。

新会社1は、市場成長率の高い情報通信分野及び健康関連分野等に進出します。

新会社2は、生活雑貨関連分野への進出を足がかりに、中期的にコミュニティを創造するビジネスモデルを確立します。

企業グループ体制、役員体制について



企業グループ体制のイメージ、及び役員予定について

